

CR8900

レピーター対応型

全方向回転ホイップ機構付 (実用新案登録第 1412570 号)



取扱説明書

このたびはダイヤモンドアンテナをお買い求めいただきまして誠にありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。また必要なときに読めるようにこの取扱説明書は、大切に保管してください。

このアンテナはアマチュア無線用です。指定された周波数以外では送信しないでください。

注意

事故を防ぐために、以下の注意事項をお守りください。

- ①ネジ・ビス類は、振動などでゆるむことがあります。お使いになる前に確認し、ゆるんでいるようなら締めなおしてください。
- ②強い衝撃を受けると破損したアンテナが落下して大変危険です。走行中は、枝などの障害物にぶつけないように十分注意してください。
- ③ディーゼル車などの激しい振動により、アンテナが破損することがあります。できるだけ振動の少ないところを選んでアンテナを取り付けてください。
- ④送信中のアンテナに触ると感電することがあります。停車中に運用するときは、アンテナの近くに人がいないことを確認してください。
- ⑤アンテナを倒したまま走行しないでください。事故の原因になります。
- ⑥車の幅・全長を越えない、人体に触れにくいところに取り付けてください。
- ⑦運用する前にアンテナが正しく動作していることを確認してください。無線機が故障する原因となります。
- ⑧雷が鳴り出したら、アンテナや同軸ケーブルには絶対手を触れないでください。感電の原因となります。
- ⑨運転の支障にならないように、同軸ケーブルを配線してください。
- ⑩アンテナや基台、同軸ケーブルを車の他の配線や端子ボックスの近くに取り付けしないでください。接触して、火災・感電の原因となります。

異常があればただちに発射を中止

VSWRが高いまま送信し続けるとトランシーバーなどの機器を破損するおそれがあります。ただちに電波の発射をやめ、販売店または弊社までご相談ください。

●特長

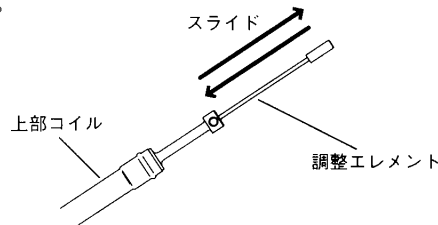
- ①全長約 1.3m にして、4 バンド対応を実現しました。
- ②全方向回転ホイップ機構 (実用新案登録第 1412570 号) 付きのため、車庫入れ時のめんどろなアンテナの取り外しが不要です。回転ホイップ部を引き上げれば360度どの方向へも倒すことができます。
- ③接栓 (コネクター) のセンターピンには 24K 金メッキを採用しているので、極めてロスの少ない構造になっています。
- ④ 29/430MHz 帯はレピーター対応です。
- ⑤ 29MHz 帯はエレメントの調整で周波数の移動が可能です。

●取付方法

CR8900の29/50MHz帯は、車のボディをアースとして動作します。車のボディと基台が完全に導通していないとVSWRが下がらない場合がありますので、基台とボディの導通を完全にとるようにしてください。アンテナエレメントが車のボディに接近したり、他のアンテナの近くにある場合などもVSWRが下がらない場合があります。144/430MHz帯については、アースの必要がないノンラジアルタイプです。

●調整方法

CR8900の50/144/430MHz帯は無調整でご使用いただけます。29MHz帯のみ、上部の調整エレメントにより希望の周波数に合わせることができます。長くすると低い方に周波数が移動し、短くすると高い方に移動します。1 cm 当たりの周波数変化量は約 400kHz です。

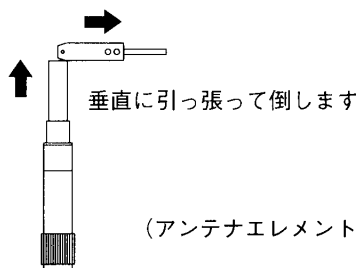


注意

- ①周りに障害物や電線がなく、他の車や歩行者の通行の妨げにならないところで行ってください。
- ②アンテナ調整のために電波を発射する場合は他局の妨害にならないよう少ない電力で短時間を心がけてください。

●アンテナエレメントを倒す場合

倒すときは、アンテナを引き上げて折り曲げます。



(アンテナエレメント折り曲り機能)

注意

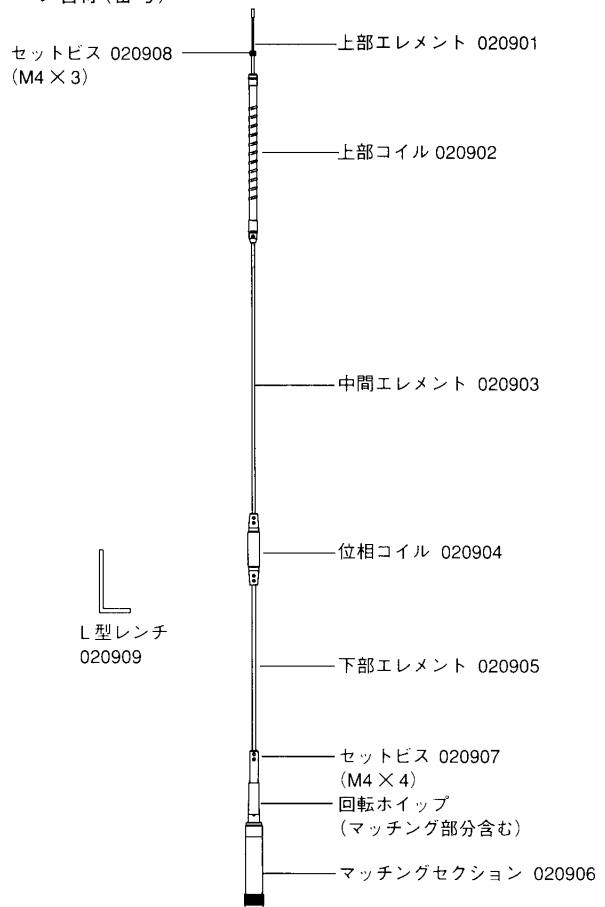
- ① セットビスは走行中に多少ゆるむ場合がありますので、特に新しいアンテナについては締め付けを十分に行ってください。
- ② アンテナエレメントを倒したまま走行しないようにしてください。
- ③ 50MHz帯は51～52MHz FM専用となっています。
- ④ 29MHz帯は29～29.7MHz FM専用となっています。



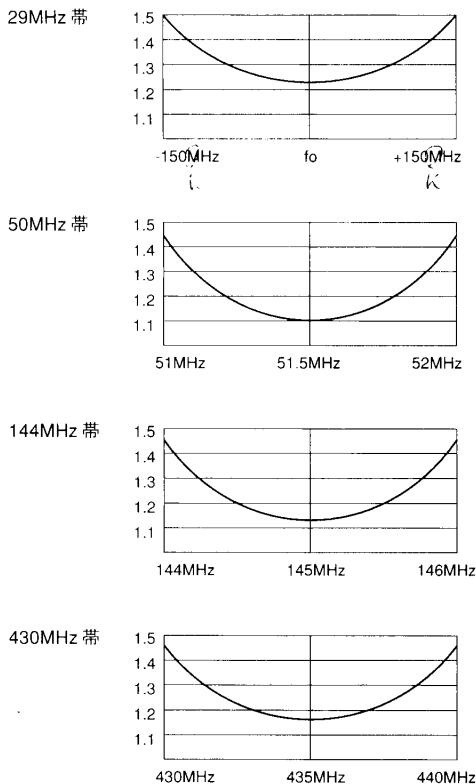
基台（オプション）を取り付ける場合の注意

- ① 基台を取り付けたところからサビが発生することがありますので、あらかじめ塗装のはがれたところにサビ止めを塗っておいてください。ただしこのアンテナの29/50MHz帯はボディをアースとして利用する接地型アンテナですので基台とボディがセットビスによって完全に導通されていないと良好な効果が得られません。
- ② 同軸ケーブルを車内に引き込んだところから水が侵入することがありますので、十分に注意してください。
- ③ 回転ホイップの折り曲げ部やプラスチックに、凍結防止剤などの塩分が含まれた汚れが多量に付着したまま送信しないでください。アンテナの性能が低下し、無線機が故障する原因となります。
- ④ 定期的に汚れをきれいに拭き取ってください。ただしシンナーやベンジンなどでは拭かないでください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。

● パーツ名称(番号)



● V SWR表



● 送信空中線の型式

アマチュア局の免許申請書類の空中線型式には「単一型」とお書きください。

● 規格

利得: 2.15dBi (144MHz)、5.5dBi (430MHz)

耐入力: 60W (FM)

インピーダンス: 50Ω

VSWR: 1.5以下

全長: 1.26m

重量: 490g

接栓: M形

形式: 1/4λ (29/50MHz)、1/2λ (144MHz)、5/8λ 2段 (430MHz)

※144/430MHz帯はノンラジアル。

■ お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故などによる破損がありましたら、販売店にお申し付けください。

■ アンテナの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

2002年9月 初版発行

©2002第一電波工業株式会社

Printed in Japan